

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年2月22日(2018.2.22)

【公表番号】特表2017-506238(P2017-506238A)

【公表日】平成29年3月2日(2017.3.2)

【年通号数】公開・登録公報2017-009

【出願番号】特願2016-552328(P2016-552328)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/519 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

C 0 7 D 487/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/519

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 31/04

C 0 7 D 487/04 1 4 0

C 0 7 D 487/04 C S P

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月15日(2018.1.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

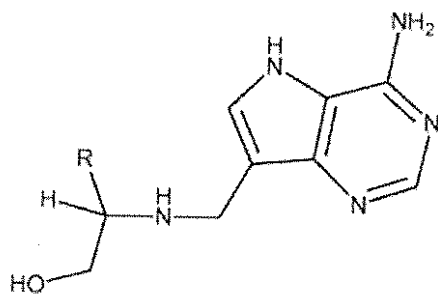
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対象におけるピロリ菌 (*Helicobacter pylori* (H. pylori)) 感染を治療するための医薬組成物であって、ピロリ菌 (H. pylori) の増殖を阻害するために有効な量の式 (I) の化合物、または薬学的に許容可能なその塩、もしくはそのエステルを含み、式 (I) は、

【化 1】



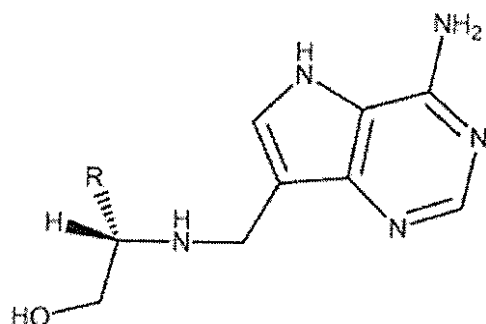
(I)

(式中、Rは、QまたはCH₂SQであり、Qは、C1～C9アルキル、アリール、ヘテロアリール、アラルキル、またはC4～C7シクロアルキルであり、Qは、1つ以上のハロゲン、OHおよび/またはNH₂基により任意選択的に置換される)である、該医薬組成物。

【請求項 2】

前記化合物が、式

【化 2】



を有する、請求項 1 に記載の 医薬組成物。

【請求項 3】

R が、Q である、請求項 1 または 2 に記載の 医薬組成物。

【請求項 4】

R が、 CH_2SQ である、請求項 1 または 2 に記載の 医薬組成物。

【請求項 5】

Q が、 $\text{C}1\sim\text{C}9$ アルキルである、請求項 1～4 のいずれか一項に記載の 医薬組成物。

【請求項 6】

Q が、 $\text{C}4\sim\text{C}7$ シクロアルキルである、請求項 1～4 のいずれか一項に記載の 医薬組成物。

【請求項 7】

Q が、アリールである、請求項 1～4 のいずれか一項に記載の 医薬組成物。

【請求項 8】

Q が、ヘテロアリールである、請求項 1～4 のいずれか一項に記載の 医薬組成物。

【請求項 9】

Q が、アラルキルである、請求項 1～4 のいずれか一項に記載の 医薬組成物。

【請求項 10】

Q が、ハロゲンにより置換されたアリール、ヘテロアリールまたはアラルキルである、請求項 1～4 のいずれか一項に記載の 医薬組成物。

【請求項 11】

R が、Q または CH_2SQ であり、Q は、 $\text{C}2\sim\text{C}9$ 直鎖アルキル、アリール、ヘテロアリール、アラルキル、または $\text{C}4\sim\text{C}7$ シクロアルキルであり、Q は、1 つ以上のハロゲン、OH 基および／または NH_2 基により任意選択的に置換される、請求項 1～4 のいずれか一項に記載の 医薬組成物。

【請求項 12】

前記ハロゲンが、オルト、メタまたはパラ位において存在する、請求項 10 または 11 に記載の 医薬組成物。

【請求項 13】

前記ハロゲンが、 Cl 、 F 、 Br または I である、請求項 1～12 のいずれか一項に記載の 医薬組成物。

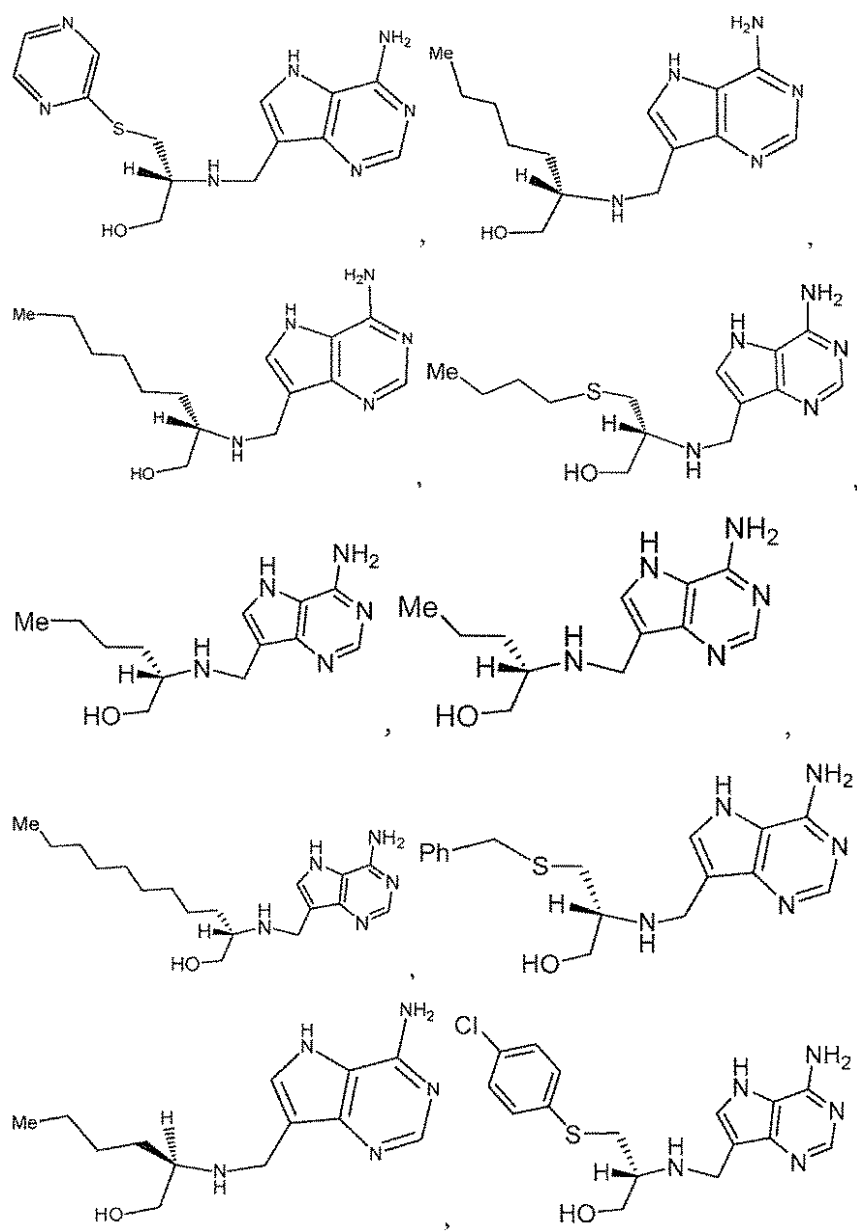
【請求項 14】

Q が、 $\text{C}3\sim\text{C}9$ 直鎖アルキルまたはヘテロアリールである、請求項 1～4 のいずれか一項に記載の 医薬組成物。

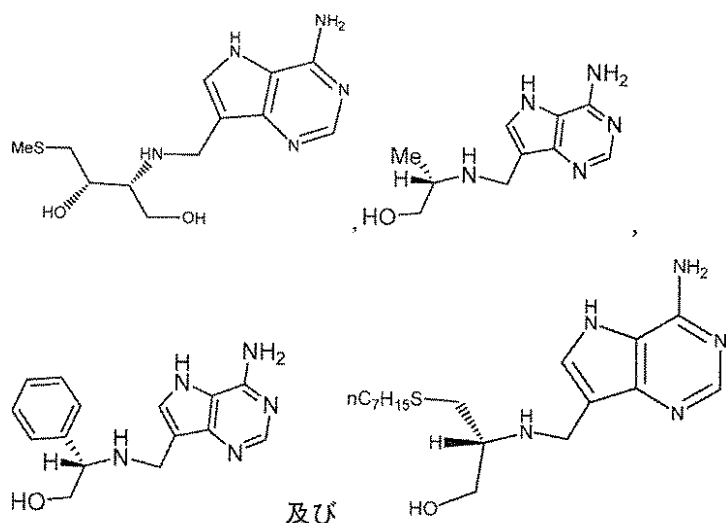
【請求項 15】

前記化合物が、

【化 3】



【化 4】

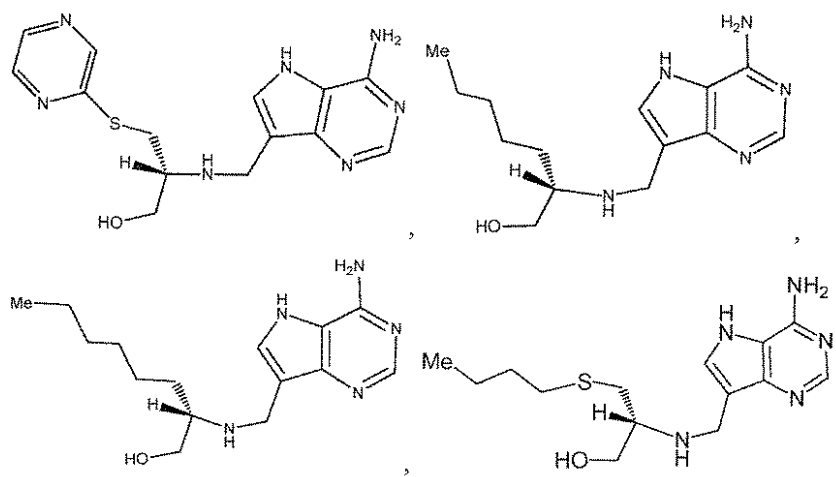


からなる群から選択されるか、または薬学的に許容可能なその塩、もしくはそのエステルである、請求項 1 または 2 に記載の 医薬組成物。

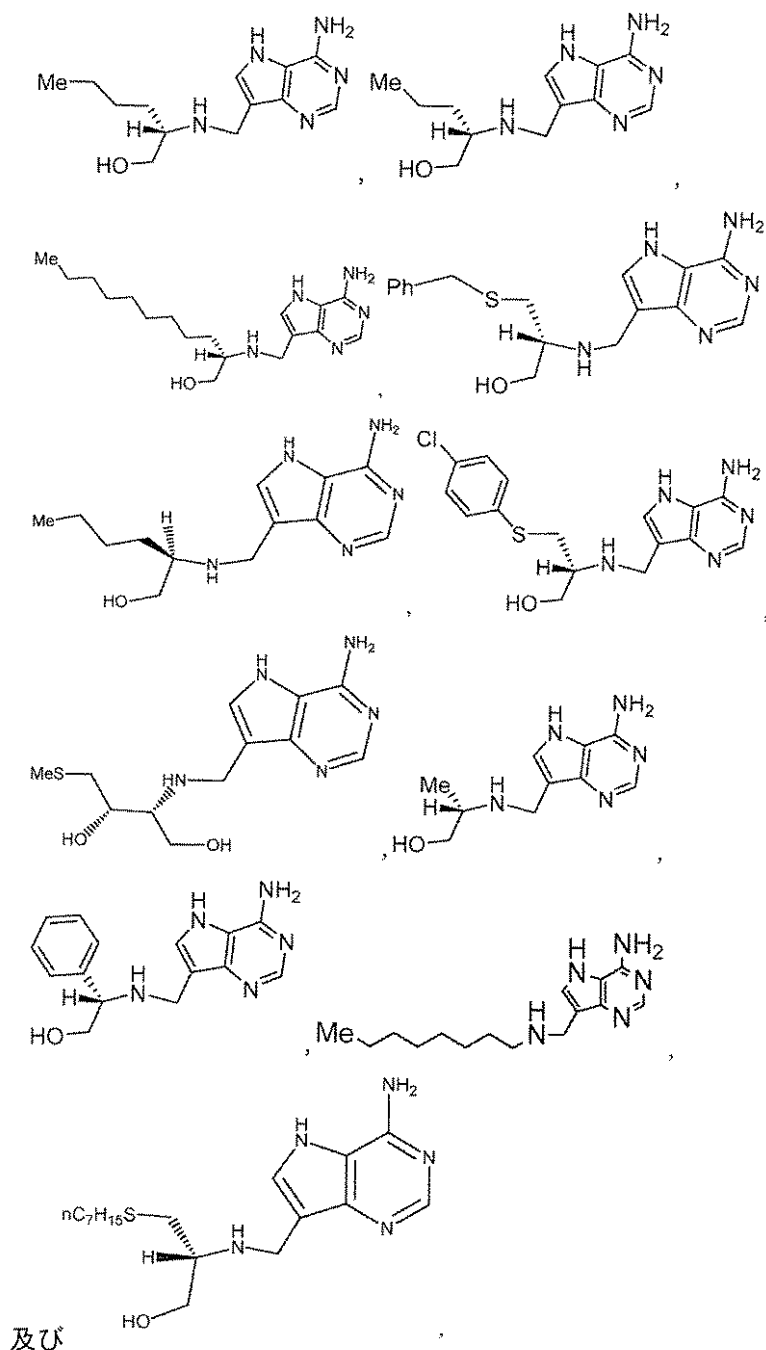
【請求項 16】

対象におけるピロリ菌 (*Helicobacter pylori* (*H. pylori*)) 感染を治療するための 医薬組成物 であって、ピロリ菌 (*H. pylori*) の増殖を阻害するために有効な量の化合物、または薬学的に許容可能なその塩、もしくはそのエステルを含む、前記化合物は、

【化 5】



【化 6】



からなる群から選択される、該医薬組成物。

【請求項 17】

前記組成物中の前記化合物の量は、ピロリ菌 (*H. pylori*) 5'-メチルチオアデノシンヌクレオシダーゼ (MTAN) を阻害するために有効な量である、請求項 1～16 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 18】

前記化合物が、ピロリ菌 (*H. pylori*) の増殖を阻害するが、大腸菌 (*E. coli*)、コレラ菌 (*V. cholerae*)、黄色ブドウ球菌 (*S. aureus*)、肺炎桿菌 (*K. pneumoniae*)、赤痢菌 (*S. flexneri*)、サルモネラ菌 (*S. enterica*) および緑膿菌 (*P. aeruginosa*) からなる群から選択される 1 つ以上の細菌の増殖を阻害しない、請求項 1～17 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 19】

前記化合物が、大腸菌 (*E. coli*)、コレラ菌 (*V. cholerae*)、黄色ブドウ球菌 (*S. aureus*)、肺炎桿菌 (*K. pneumoniae*)、赤痢菌 (*S. flexneri*)、サルモネラ菌 (*S. enterica*) および緑膿菌 (*P. aeruginosa*) の全ての増殖を阻害しない、請求項 18 に記載の 医薬組成物。

【請求項 20】

前記化合物が、ピロリ菌 (*H. pylori*) の増殖の阻害において、アモキシシリン、メトロニダゾールまたはテトラサイクリンよりも有効である、請求項 1～19 のいずれか一項に記載の 医薬組成物。

【請求項 21】

前記医薬組成物が消化性潰瘍を治療するために使用される、請求項 1～20 のいずれか一項に記載の 医薬組成物。

【請求項 22】

前記医薬組成物が胃潰瘍または十二指腸潰瘍を治療するために使用される、請求項 1～21 のいずれか一項に記載の 医薬組成物。

【請求項 23】

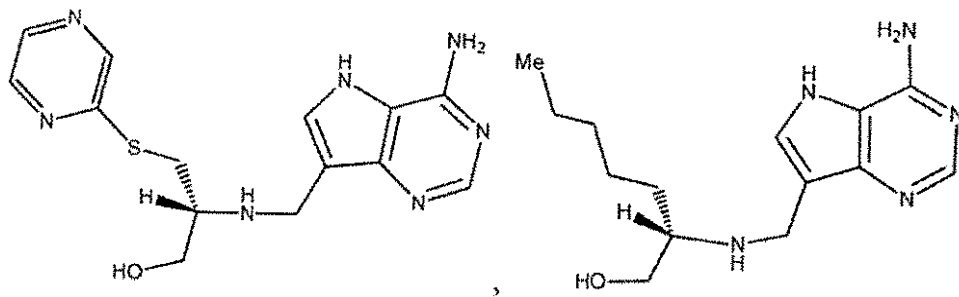
前記医薬組成物は経口投与される、請求項 1～23 のいずれか一項に記載の 医薬組成物

。

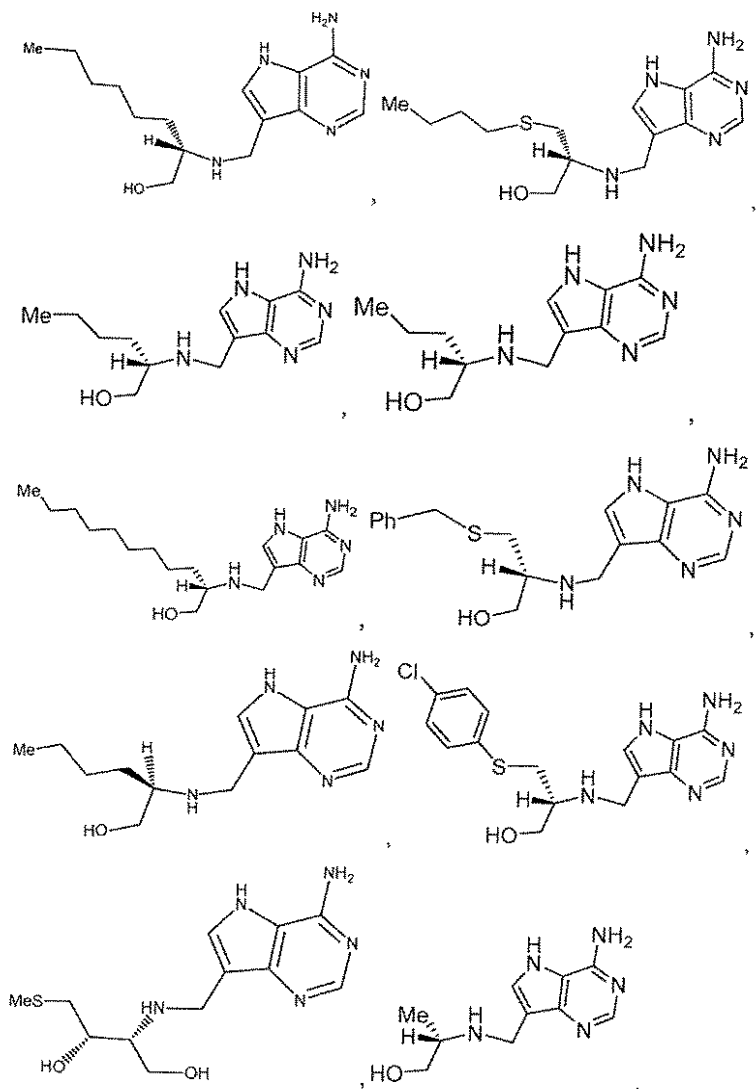
【請求項 24】

構造

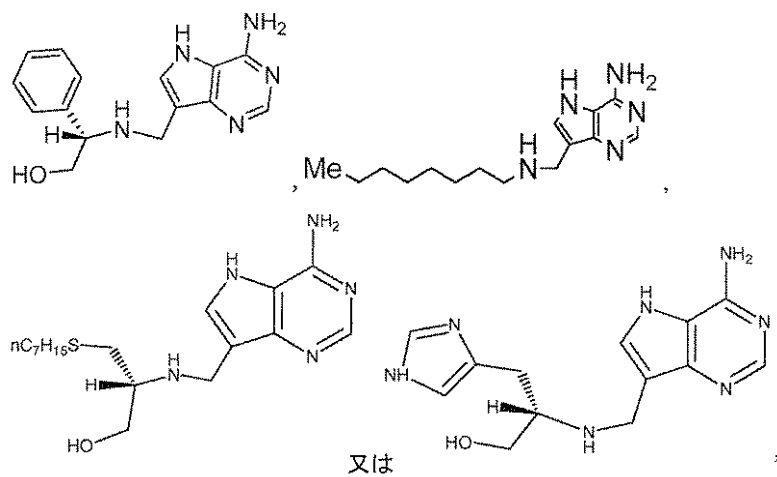
【化 7】



【化 8】



【化 9】



を有する化合物、または薬学的に許容可能なその塩、もしくはそのエステル。

【請求項 25】

請求項 24 に記載の化合物および薬学的に許容可能な担体を含む医薬組成物。